

(4)WebPAL活動報告と次年度予定

④四国支部

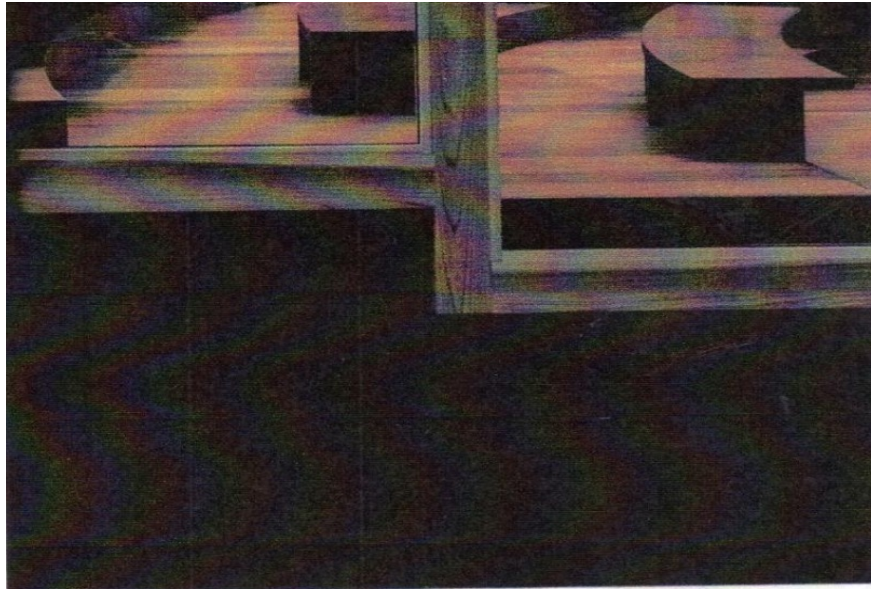
2024/12/8

四国支部長 森口敏生

1) Zoom 神山 ビール

2024/6/16

主催 東海連合
共催 四国支部



神山まるごと高専

神山を“日本のシリコンバレー”へ
導く次世代を育む

「テクノロジィ、デザイン、起業家精神を学ぶ場所」。2023年に開校した神山まるごと高専は、日本で唯一起業家の育成を打ち出した、5年制の私立高等専門学校だ。現在、第一期生と二期生の学生たち約80名（男女比5対5）がここで、「テクノロジィ」「デザイン」「起業家精神」を土台としたカリキュラムで学んでいる。同校の発案者であり発起人の一人、そして理事長を務めるのが、名刺をクラウド化して業界にインベシヨンを起こした東京のITベンチャー SansonのCEO、寺田親弘だ。寺田と神山の出合いは10年以上前に遡る。過去にシリコンバレー勤務を経験していた寺田は、日本にも面白い町があると聞き、ふ

らりと神山を訪れた。その際に、シリコンバレーの中核であるスタンフォード大学院出身で、NPO法人グリーンバレー代表の大南信也（神山まるごと高専の発起人の一人）と出会い、2010年に神山「Sansonのサテライトオフィスを設置する。

神山まるごと高専のクリエイティブディレクター村山海優は言う。「寺田は、神山とシリコンバレーがよく似ていると感じたといいます。シリコンバレーではアーティストがいる場所にエンジニアが集まり、エンジニアが集まると、起業家が集まってくる。神山にも神山アーティスト・イン・レジデンスがあり、光ファイバーもかなり早いタイミングで完備されていた。そして、大南さんと寺田でシリコンバレーと神山の共通点を話しているうちに、シリコンバレーにあって神山に足りないのは、野心を持った学生をエンパワーできる高等教育機関だという結論になったそうです」。神山町には小・中・高校があり、町から1時間ほどの場所には徳島大学もある。そこで出た答えが、高専だった。

全寮制の神山まるごと高専は、本来であれば年間200万円かかる学費が全額無償だ。そこには、「家庭の経済状況に左右されず、世界を変える可能性を秘めた子どもたちの誰もが目指せる学校にしたい」という寺田の強い信念があった。では、どのようにして学費無償化が実現したのか。数年かけて何社にもプレゼンを行い、出

ベランダで
通信機器

こちら側が
ビール工場



1階がShop
& Table

あべさやか

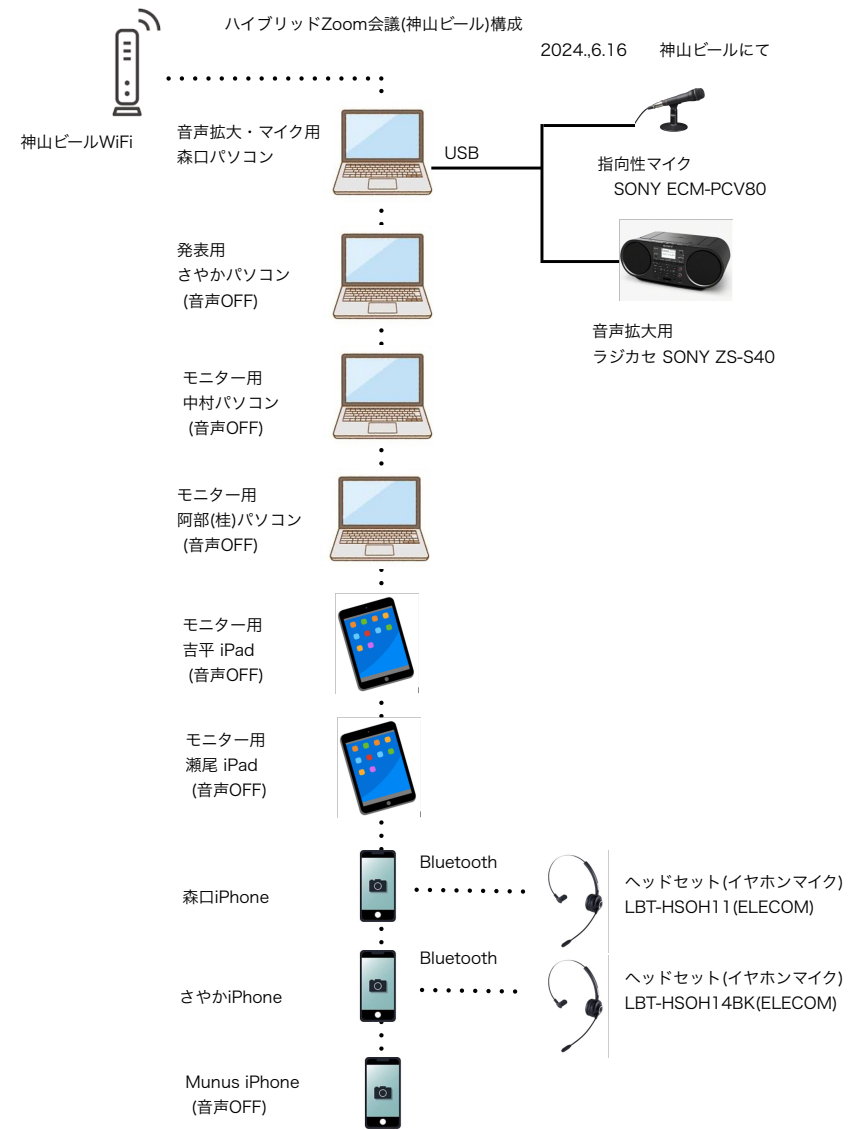
KAMIYAMA BEER オーナー、アーティスト
ビールを通して体感する
優しさの循環システム



(右から時計回りに) ビール造りを行く「ブローリーの「サボート」役です」と笑うあべさやか。あべが手がけたアートが施され、前面の山々に溶け込むブルワリー。緑を流れる川を辿って、森の学校みかっけの手もたしがやってくることも。ブルワリー内にはタップルームも併設。出来立ての自然発泡ビールを片手に、野食も楽しめる。従事者内にはキャップ職や日曜り温泉施設も。常時揃えている4種のハウスビールに加え、季節ごとに限定フレーバーも登場する。あべが手がける、カラフルセラベルもビール類をそえる。

55

徳島新聞Webより



2) 四国支部の2025年度予定

群馬大学工業会四国支部2025年度予定計画

2024/11/17

2025年	
1月	
2月	
3月	四国支部分科会
4月	徳島地区
5月	香川地区
6月	愛媛地区
7月	高知地区
8月	
9月	
10月	四国支部総会予定
11月	
12月	
2026年	

4県単位での分科会

総会予定場所:徳島
 ・ Zoomハイブリッド形式
 ・ 本部役員参加予定
 ・ 講演会

- ・ 四国支部総会をZoomで
準備期間を4月～9月(スタッフの確立)
- ・ 4県を分科会に分けて
各県の役職者の選定
各県単位で会議、イベント、懇親会を行う。
資金は四国支部より援助